



今月の表紙：「スペクトラム」とは連続体である。医療では自閉スペクトラム症のように、コミュニケーションや言語に関する症状があり、常同行動を示すといったさまざまな状態を連続体（スペクトラム）として包含する重要な概念となっている。また、視神経炎、脊髄炎といった一定の病態だけでなく、中枢神経系に大きな広がりを持ち、抗アクアポリン4抗体を共有する疾患群として視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）という病名も定着しつつある。筋炎・壊死性筋症もスペクトラムである。その病態を正確に把握するためには、筋症状・皮膚症状のある／なしで画一的に分類するのではなく、筋力低下、皮膚症状、呼吸器症状などをさまざまな程度で示すスペクトラムとして捉えることが重要である。

特集

筋炎と壊死性筋症

- 109 **鼎談 筋炎・壊死性筋症の過去・現在・未来**
上阪 等×藤本 学×神田 隆
- 117 **新しい国際分類基準が投げかけるもの** 上阪 等
- 127 **壊死性筋症の歴史と疾患概念** 富満弘之
- 137 **炎症性筋疾患の皮膚病変 — 皮膚所見からどこまでわかるか**
藤本 学
- 147 **筋炎・壊死性ミオパチーの筋病理**
筋炎と筋ジストロフィーは病理で鑑別できるか 斎藤良彦, 西野一三
- 161 **筋炎と壊死性筋症の最新治療** 本田真也

総説

- 171 **構成的理解に基づく精神疾患のマルチスケール解析**
林(高木)朗子

症例報告

- 179 **前立腺癌増悪時に出現した傍腫瘍性オプソクロームス, 小脳性運動失調の1例** 栗原可南子, 他
- 183 **原発性シェーグレン症候群に合併した免疫介在性壊死性ミオパチーの1例** 高橋信敬, 他

Pick Up — もういちど読んでおきたいあの論文

- 191 **神経科学の原理的な法則発見への端緒** 酒井邦嘉

書評

- 189 **基礎から学ぶ 楽しい疫学 第4版** 評者：市原 真
- 190 **疼痛医学** 評者：菊地臣一

- 192 投稿規定
- 194 Information for Authors
- 196 バックナンバーのご案内
- 197 次号予告
- 198 あとがき